しだ昭

政



2014 夏号

七尾が大好き

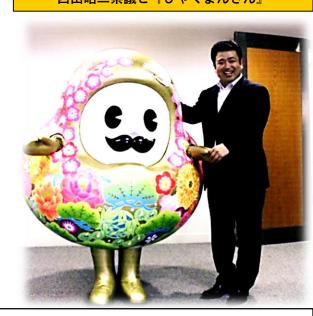




平成26年6月県議会 一般質問をする西田昭二県

こんにちは、県議会議員の西田昭二です。 昨年の参議院選挙に引き続き、今年2月の 知事選挙でも皆様にご協力いただき、6期目 の谷本県政がスタートしたわけであります。 私も、現在今期2度目の県議会環境農林建設 委員長として、県下の諸問題について取り 組んでいるところでありますが、来年には 北陸新幹線や能越自動車道の完成により、 首都圏や中京圏からの多くの観光客が来て いただけると期待されている中であります。 能登・七尾の活力に繋がるよう地域のおも てなしの充実のためにも県政のパイプ役と して、全力で取り組んでまいりたいと思っ ております。今後とも皆様の温かいご支援 <u>ご協力をよろしくお願いいたします。</u>

西田昭二県議と『ひゃくまんさん』



石川県議会議員西田昭二(2期 45歳)

県議会での主な略歴

"

]]

◎:委員長

○:副委員長

H 25年

H26年 県議会 ◎ 環境農林建設委員会 商工労働公安委員会 県議会

防災対策特別委員会 防災対策特別委

員会

政策調査会検討委員会 座長

決算審査特別委員会

H23年

○ 環境農林建設常任委員会 ◎ 厚生文教常任委員会

地域経済·雇用対策特別

委員会 H22年

H24年

文教公安常任委員会

新幹線対策特別

委員会 H21年

別委員会

○ 総務企画常任委員会

循環型社会形成特

~にしだ昭士事務第任委員会0173 七尾市石崎町ン部57€L&FAX 07地域施災52g活性化 H20年 特別委員

初心を忘れることなく! 2月議会一般質問・6月議会一般質問

県議会初当選から6月議会で29回の県議会定例会が行われ、これまで初回からずっと一般質問や委員会での質問を続けています。細かな質問もありましたが『地元七尾を大切に』との思いであり県議会議員として県との『つなぎ役』に徹する思いは今も変わりません。以下は、2月議会一般質問及び6月議会一般質問での私の質問と執行部の答弁の趣旨です。

豪雨災害に備えて 【平成26年 2月議会にて】

《質問趣旨》鷹合川改修工事の今後のスケジュールと 御祓川改修計画について聞く。また、熊木川改修工事 の今後のスケジュールはどうか

《鈴木土木部長答弁》鷹合川改修についてはこれまでに御祓川合流地点から国分地内までの約1kmが完成。国分町から上流部の細口大橋までの約600mの区間については、H22年度までに河道を暫定的に約三倍に拡幅するなどの整備を行ってきたところである。今後も計画的に河道拡幅工事を進め、さらなる治水安全度の向上を図ってまいりたい。また、熊木川の河川改修については全体計画約3.6kmのうち、これまでに河口からのと鉄道橋までの約1.2kmの改修が完了。現在、中島橋の下流において河道拡幅工事を実施、H26.2月末には中島橋の仮橋の工事に着手する。



鷹合川 細口大橋上流 (七尾市提供)



リニューアルする県立歴史博物館について

【平成26年 2月議会にて】

H26.5.2 北國新聞 勇ましい表情の曽我十郎祐成一七尾市山王町で



《質問要旨》 リピーターを増やすため、 季節ごとの祭りなど豊富な素材を活かし、 展示内容の衣更えも必要と考えるがどのよ うな工夫を考えているのか聞く。

【平成 26年 2月議会】その他の一般質問

- ◎北陸新幹線開業を見据えた観光振興について
- ◎のと里山海道の無料化と移住対策について
- ◎能越自動車道の建設促進について
- ◎能登の里海の振興策について

- 【平成 26年 6月議会】その他の一般質問
- ◎新たな出発を切った遠藤関と丹蔵関について
- ◎能登空港の利用促進について
- ◎今夏の電力需給と七尾大田火電について
- ◎観光誘客について

シャトル特急列車の利用向上について【平成 26年 6月議会にて】

《質問要旨》北陸新幹線金沢開業後、金沢・和倉温泉間を結ぶシャトル特急の運行が決定したが、 本数を維持し、さらに増便してもらうためには、利用客の確保が必要だと考えるがどうか。

《黒野企画振興部長答弁》シャトル特急 の利用しやすい環境づくりについては新 幹線開業後の能登方面への重要な交通手 段。県や能登総合開発協議会が要望した 結果、本年1月に金沢発着のシャトル特 急1日5往復、関西方面からの直通特急1 往復を創設する方針が示された。また、 利便性確保に向けた方策として、大阪駅 等で能登方面への特急乗り継ぎの案内表 示や金沢駅でのシャトル特急の対面乗り 継ぎを可能にすることも示されている。 より利用しやすい環境となるようJR西 日本に対し、引き続き、しっかりと働き かけていきたい。



漁業者による6次産業化等の取り組みについて【平成26年6月議会にて】



ロスへの出荷を前に、魚の鮮度を 長く保つ「神経締め」を行う関係者 七尾市鵜浦町 26.4.24 北國新聞

《質問要旨》 漁業者による6次産業化等の取り組みの現状及び 漁業者の6次産業化の推進するため、県はどのように指導・支援 していくのか。

《堀畑農林水産部長答弁》水産物を活用した取り組みについては、 七尾市の鹿渡島定置の漁業者による鮮度の高い魚介類、干物、冷 凍品の加工直売が行われているほか、いしかわ里山創成ファンド を活用し、流通が少ない海藻やゴマフグの活用、なまこスイーツ の開発等が行われている。さらにブリのたたき等の加工品や海藻 を利用したスナック菓子の開発、漁業被害をもたらす大型クラゲ の中華料理食材としての利用等、商工業と連携し様々な取り組み を行っている。県としては、漁業者に対し研修などの機会を捉え、 6次産業の取り組み事例の紹介するとともに各種支援制度の周知 や経営改善に向けた助言を積極的に行っていく。

『きのこ』再生に向けた里山整備について【平成 26年6月議会にて】

《質問要旨》きのこ再生に向けた里山整備実証事業の内容を聞く。また、能登島で民間団体が取 り組んでいるアカマツ林の再生等の地道な取り組みに対し、後押しが必要だと考えるが、県の 考えを聞く。

《堀畑農林水産部長答弁》かつてアカマツ林は薪や炭の材料を得るため 手入れが行われ、様々なキノコが発生し森の恵みを与えてくれていたが、 近年は化石燃料の普及により手入れが行き届かないためアカマツ林が増 えキノコの発生も減ってきている。こうした中、能登の里山里海が、世 界農業遺産に認定されたことを契機に、企業やNPO等が里山再生を図 る取り組みが広がりつつあり、キノコの発生に向けた効果的な作業方法 等を、県に対し技術的な支援を求めてきている。このため、林業試験場 が再生に向けた最適な作業方法を現場で実証し、その成果をマニュアル として普及させ、技術指導も行うことにしている。里山の美しい景観の 保全や地域資源の活用のためにも重要である。県としても、民間団体が 行う里山再生の取り組みをしっかりと後押ししていきたい。



H26.6.1北陸中日新聞

首都圏で次の発信策は

西田 昭二氏

いかに魅力を発信するか。 ふるさと祭り東京〉来年は 全国の祭りを紹介 自民

川の改修工事スケジュールは 組みを聞く。 55件に増えた。 わな猟を行う

リコ祭りを披露したい。

〈豪雨への備え〉七尾市鷹合

来年の「ふるさと祭り東京

「崎奉燈祭が出演

26.2.14北國 (夕刊)

に三十万円だったが、 る被害額は二〇〇七年 市町でのイノシシによ

宝達志水町以北の九一万円と十五倍近くに膨

らんでいる。農業者の

高まっているとみて、

県は能登での需要が | の後減少して○六年度

の壁に水槽内の映像を投影

理事長は、ジンベエザメ館

間では銃猟に比べ手続

きが簡素なわな猟の免

ち一回を能登に振り向

けることを決めた。

県全体での免許交付

進む一方、わな猟の普

227人が来場した。 今夏

以上を占めて高齢化は た。六十歳以上が六割

北陸三県で共同スペー

の石崎奉燈祭が出演する。地元 の担ぎ手200人で迫力あるキ

区間約500以について、第1

知事

20人で石崎奉燈祭披露

は能登にも受験会場を設ける。 20~3代が増えている。新年度

帯)宮下正博(自民)井出敏朗(自民)の四氏が一般質問した。堀畑正純環境部長は二〇

県議会二月定例会は十四日、本会議を再開し、西田昭二(自民)若林昭夫(清風・連

を明らかにした。狩猟者を増やすことで被害軽減につなげる。(田嶋豊、松本浩司) 四年度、イノシシなどの農作物被害が増える能登に、狩猟免許試験の会場を設けること 鈴木土木部長 上流の未改修

するメーンイベントに、七尾市

は06年度913件が12年度13 状と確保策、技術向上への取り 水野農林水産部長 免許交付 〈鳥獣被害対策〉狩猟者の現

予算を計上した。新年度中には 26.2.15北國新聞

発備を終える。

次2月補正で拡幅に向けた追加

県議会一般質問

お化け屋敷も企画 水槽の映像を投影

県民ふれあい公社の北村修 る「夜の水族館」について、 (七尾市)で今夏に開かれ のとじま臨海公園水族館 夏の「夜の水族館

いている免許試験のう。で一二年度には千三百 現在金沢市内で三回開一った。わな猟の取得増 が最低の九百十三件だ 五十五件まで回復し める新たな企画を用意した ことを説明した。 し、幻想的な雰囲気が楽し

的に実施され、2日間で5 夜の水族館は昨夏に試験

は午後6~9時までで、イ 9月13、20日に開く。 は8月2、9、23、30日と

は増加傾向にある。 及により二十一三十代

奇怪な生物を展示する「水 ルカショーのほか、容姿が

し、イノシシ肉利用の すい環境づくりと並行 裾野を広げて捕獲意欲 県は免許を取得しや

を高めたい考え。西田

26.2.15 北陸中日新聞

氏の質問に答えた。 西田氏が質問した。 中お化け屋敷」を開催する。

稼働率示せ が稼働していた10年度は約6割 止した11年度以降は7割から9 志賀原発が年間を通して停

割程度となっている。

26.6.11北國新聞

原発の運転停止前後と比較した 分寺地区の整備スケジュールを 〈能登歴史公園〉七尾市の国

する。 目的広場を集中的に整備してお 常田土木部長 公園中央の多

新年度、農作物被害軽減

西田昭 許取得者が増え、九市 町での合格件数(わ

一年には四百四十二

な、銃の合計)は〇九 年度の三十四件から一 二年度の七十七件へと

四十五)年度がピーク 件数は一九七〇(昭和 で三千五百五十件。そ

記事あれこ

町外から田岸間は、 発備が必要だ。

早期の道路 七尾市中島 食良

(国道249号)

西田 昭二氏

七尾火力の

合を決めた。決勝はチーム 巡の猛攻で24点を挙げ、 最年長75歳の若林昭夫氏が

26.6.1北國新聞

先発するも、元プロ選手を

る区間がある。幅員を広げ、見

働率を示せ。

谷本知事 急カーブが連続す

2010年度から参加し、

県はふるさと祭り東京に

メーンイベントにはこれま

-13で敗れ、準優勝だった。

続く決勝は長野に1

陸の物産、伝統工芸を発信

トスペースを確保して、北

北信越県議会議員野球大

北信越県議会野球

氏の3点本塁打など打者4

1回戦は2回に西田昭

する。西田昭二氏

の質問に答えた。

営球場で行われた。 会は31日、福井市の福井県

石川は

1回戦で福井に27―1で大

陸三県が共同で大型イベン

前の開催であり、新たに北

石川は準優勝

た。北陸新幹線の開業直

崎奉燈祭が出演すると説明

般質問で谷本正憲知事は、

14日、本会議を再開し、

お熊甲祭(七尾市)、山

ることが想定されるとし 幹線のダイヤ発表直後とな

市)、御陣乗太鼓(輪島市)、

石川県議会2月定例会は

県議会一般質問

C

飯田燈籠山祭り(珠洲

谷本知事は開催時期が新

来年1月に都内で開催され

全国の祭りを紹介するメー る。ふるさと祭り東京」で、

10ブース設けている。 など物産を販売する区画も されている。和菓子や地酒 代大田楽(加賀市)が招待

規模の取り組みを計画し、

て、これまでの中でも最大

魅力発信の総仕上げとし

首都圏からの誘客につなげ

たい」と述べた。

イベントに、七尾市の石

擁する長野に2回に9点を

奪われた。富山と新潟が欠

場し、3チームで争った。

新たに着手する。

〈七尾大田火力発電所〉志賀

通しを良くするバイパス整備に

黒野企画振興部長

志賀原発

企画振興部長 原発停止後は 9割稼働